

ホタル通信

Vol. 63



～地域密着 いつでも安心 豊田中央病院～

下関市立豊田中央病院広報委員会
〒750-0424 下関市豊田町大字矢田 365 番地 1
電話：083-766-1012/FAX：083-766-1439



■ ホームページ

<http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/toyotabyoin/index.html>



■ 公式 Facebook(フェイスブック)

<https://m.facebook.com/profile.php?id=100070141929020>

病院・薬局連携会議を開催しました

令和7年3月13日、下関市立豊田中央病院にて、地域薬局の先生方と「病院・薬局連携会議」を開催しました。今回は木屋川薬局、フラワー薬局、エーデル薬局、菊川薬局の皆様にご参加いただき、病院側からは医師、薬剤師、事務職員が参加しました。

会議では、まず電子処方箋の導入状況について話し合いました。各薬局では準備が整っている一方、実際の運用経験はまだ少なく、積極的に活用し、経験を積んでいく必要性が確認されました。また、電子処方箋の活用により、患者さんの待ち時間短縮や重複投薬防止といったメリットが期待されています。

続いて、オンライン資格確認への対応状況についても意見交換しました。資格確認端末の運用や、マイナンバーカード利用に関する課題について共有し、高齢者にも使いやすい体制整備の必要性が指摘されました。

さらに、日頃の連携に関しても活発な意見交換がありました。処方内容に関するコメントの伝え方や、一般名処方への対応、また訪問薬剤指導についても、各薬局の対応状況を確認しました。

参加者からは「普段直接話せない中で情報共有できた」「医師の考えが明確になった」などの声が寄せられ、事後アンケートでもほとんどの方が「満足」と回答、非常に有意義な会となりました。

これからも病院と薬局が力を合わせ、地域の皆様が安心して医療を受けられる体制づくりに努めてまいります。



**データに基づく
より良い医療が受けられる**

薬剤情報等の提供に同意をすると、おくすり手帳を見せなくても過去に処方されたお薬や特定健診などの情報を初診でも医師・薬剤師にスムーズに共有できます。

眼科が常勤医師体制となりました



令和7年3月まで当院の非常勤医師として勤務されていた竹中医師が、4月より常勤医師として勤務されることとなりました。

それに伴い、午後診療を行う曜日が増え、これまでより受診していただきやすくなりました。

眼に関するお困りごとがございましたら、お気軽にご相談ください。



退任のごあいさつ



総合診療科（常勤）
わかさ こうへい
若狭 康平

2023年4月から2025年3月までの2年間、総合診療科内科医師として勤務させていただきました。当院職員をはじめ、多くの患者さんや地域住民の方々に支えていただき、学びの多い充実した日々を過ごすことができました。大変感謝しております。

2025年4月からは山口県防府市にある、山口県立総合医療センターでの勤務となります。この地で学んだことを今後も活かし、日々成長していきたいと思っております。2年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

新しい診療医師のご紹介



総合診療科（常勤）
つつい もとあき
筒井 基晃

はじめまして。私は医師4年目の総合診療医として、今年4月からこの豊田中央病院に山口県のへき地医療支援で赴任しました、筒井基晃と申します。豊田町は初めての土地で、まだ慣れないことも多いですが、地域の皆さんの健康を支えるため、日々学びながら診療に励んでいます。実は、この病院には上司として私の姉も勤務しており、姉弟で協力しながら働けることを心強く感じています。趣味はサイクリングで、休日には豊田町の自然や風景を自転車で探索するのが楽しみです。まだ道に詳しくないので、おすすめのルートがあればぜひ教えてください！これから地域の皆さんと一緒に、安心できる医療を作っていけたらと思います。よろしくお願いいたします。



総合診療科（常勤）
ますだ よしえ
増田 佳枝

今年度より総合診療科で勤務させていただいております増田佳枝です。以前、研修で1ヶ月間こちらでお世話になり、その時にみたホテル舟からの風景が今も忘れられません。今回ご縁があり、豊田町に勤務する機会をいただいたので、豊田町の魅力をさらに発見できるよう、ぜひ豊田にお住まいの方々のオススメのスポットなどを教えてくださいと嬉しいです。また、その際に地域の皆様とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築くことが医療において重要であると感じました。今後は地域の皆様との関わりや、医療チームでの協力の中でどのように自分の役割を果たせるのかを深く掘り下げて学びたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



内科（非常勤）
いとう しゅんすけ
伊藤 駿介

4月から非常勤医師として月曜の内視鏡検査、腹部エコー検査を担当させて頂くことになりました、伊藤駿介と申します。日頃は山口大学医学部附属病院で消化器内科医として働いています。今年で医師12年目になりますが、豊田町自体にはホテルの里ミュージアムや道の駅など何度か訪れていますが、豊田中央病院にも医師2年目の研修医の頃に2週間ほど地域医療研修でお世話になったことがあり、町の様子も含め、記憶と同じところも変わったところもあり懐かしく思います。

検査を受ける方に正確な診断はもちろん、なるべく楽な検査でわかりやすい説明ができるように努めさせて頂きます。よろしくお願ひいたします。



内科（非常勤）
やまもと たすく
山本 佑

非常勤医師として4月より呼吸器内科外来を担当しております、山口大学医学部附属病院の山本佑と申します。2022年度以来2年ぶりに戻ってまいりました。久しぶりの豊田町初日は快晴で、木屋川沿いをはじめ町内のあちらこちらで桜が変わらずきれいに咲いているのを見て、改めて景色の美しいところだと感じながら勤務をスタートさせていただきました。

咳、痰など呼吸器のことでお困りのことがございましたら、どうぞ遠慮なくご相談ください。よろしくお願ひいたします。



眼科（非常勤）
さくま あんの
佐久間彩乃

今年の4月から金曜日（午前中）の眼科外来での診療を担当することとなりました佐久間彩乃と申します。日頃は山口大学医学部附属病院にて主に涙道疾患（眼から鼻に抜ける涙の通り道の病気）の外来診療や手術を担当しています。以前にも豊田中央病院で外来診療をしていましたが、数年ぶりに戻ってくることができ嬉しく思います。

専門は涙道疾患ですが眼科全般の診療もしていますので、眼について何か困りごとがあればお気軽にご相談ください。皆様のお役に立てるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

当院駐車場で野菜や果物の販売を希望される方へ

- 病院正面の駐車場内に、普通自動車1台分の場所（2.5m×5.0m）をお貸しします。
- お貸しする単位は1日単位とし、使用料が発生します。
- 毎月15日までに翌月の販売希望日等を記入のうえ、申請書を提出いただきます。
- 1日あたりの許可者は1者以内とします。
- 漬物など加工品の販売をしようとする方は、保健所への届出が必要です。
- 肉、魚、牛乳などの販売はできません。

※希望される方は、その他の制限等があります
ので、豊田中央病院事務局（TEL：766-1012）
まで、ご連絡をお願いします。



地域包括ケア病床とは？

当院には、一般病棟内に「地域包括ケア病床」を22床（10部屋）設置しています。地域包括ケア病床とは、治療後、症状が安定された患者様が、住み慣れた自宅や施設への退院を目標に準備を整えるための病床です。

対象となる患者様

- ・在宅生活に向けた日常生活動作の訓練が必要な方
- ・傷病や入院生活による運動機能低下等のためリハビリテーションが必要な方
- ・介護者の受け入れや住宅環境の整備等、在宅生活に準備が必要な方
- ・介護サービスの調整が必要な方
- ・その他、糖尿病の教育入院やレスパイト入院※、経過観察が必要な方など

受け入れ期間

- ▶入院期間は、状態に応じ調整いたしますが、保険診療上最長で60日となります。
- ▶容態の変化等により、地域包括ケア病床から一般病床へ転床していただく場合がございます。

※レスパイトとは、「休息」「息抜き」「一時的中断」を意味します。難病等で自宅療養されている患者様のご家族（介護者）の介護負担軽減のため、一時的な外出や休養、その他の理由で介護を続けられない期間のサポートを目的とした入院がレスパイト入院です。レスパイトは、原則介護サービスが優先となりますが、入院を希望される方は、お気軽に主治医または地域連携室にご相談ください。



ホームページ・Facebook を開設しています！

豊田中央病院ではホームページ、公式 Facebook を開設しています。ホームページでは病院からのお知らせ、各診療科・部門のご紹介、職員募集・病気のお話などの情報を掲載しています。

公式 Facebook では、豊田中央病院で開催したイベント等、地域住民の方により身近な情報を発信しています。

是非ご覧ください！

皆様からの『いいね！』を
お待ちしております！

表紙のQRコードから
お入りください！

